

ベナン月報(2014年4月)

主な出来事

【内政】

- 7日、公務員ストライキに関し、政府代表と組合代表が交渉を実施したものの、交渉は決裂した。
- 8日、高等教育機関教員労働組合は総会を開き、昨年末より継続していたストライキを中止する旨発表した。
- 25日、COS/LEPI のサカ委員長は、ヤイ大統領に対し、LEPI 確認作業の登録者数は予想していた6.1百万人を大きく上回る6.5百万人であった旨報告した。

【外政】

- 2日から4日、ヤイ大統領はブリュッセルで開催されたEUアフリカサミットに出席した。
- 16日、トーゴのニヤシンベ大統領がベナンを訪問し、同大統領及びヤイ大統領は、2015年第1四半期にはアジャララ水力発電ダムを起工する旨合意した。

【経済】

- 3日、アボメイにおいてベナン油公社の労働者らが、綿花セクターの機能不全により、原料となる綿実が入手できないため、廃業の危機に陥っているとして、政府の改善を求めてデモを行った。
- 7日、コトヌーニアメイを結ぶ鉄道整備計画のプロジェクト開始式が実施され、ヤイ大統領、イスフ・ニジェール大統領、ボロレ仏ボロレ・グループ代表が出席した。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 1日、セメ・ポジで強盗を働いたとして5人の男が逮捕中に射撃された(2日、Le Matinal 紙)。
- ・ 7日、公務員ストライキに関し、政府代表と組合代表が交渉を実施したものの、交渉は決裂した。ストン(M.Martial SOUNTON)労働大臣は、行政府では約90%の公務員が通常業務に戻っている旨述べた(8日、La Nation 紙)。
- ・ 同日、小学生や中学生の親ら代表が教員労働組合代表と意見交換を行い、年間授業日数が規定日数に満たなくなる「l'année blanche」を回避するよう求めた(8日、La Nation 紙)。
- ・ 同日、ポルト・ノヴォにおいて多数の学生が、授業が再開されないことに抗議して国民議会周辺でデモを実施した(8日、L'Événement Précis 紙)。
- ・ 同日、ベナン輸送業者労働組合は、2013年12月24日に発布された、警察や憲兵隊による違法な道路料金徴収を禁じた大統領令が、実際には守られていないとして改善を求めた。同労働組合は、改善が見られない場合は、14日から48時間のストライキに入る旨発表した。

13日、アケ(M.Natondé AKE)公共事業・運輸大臣は、労働組合側と意見交換を行い、労働組合側はストライキを中止した(8日, 14日, La Nation 紙)。

- ・ 8日, 高等教育機関教員労働組合は総会を開き, 昨年末より継続していたストライキを中止する旨発表した(9日, L' Evénement Précis 紙)。
- ・ 11日, 国民議会通常国会第1セッションが開会した。憲法改正法案等が審議される予定(14日, La Nation 紙)。
- ・ 12日, ニジェールとの国境, マランヴィル市において UEMOA によって建設されて国境管理事務所の開所式にヤイ大統領及びイスフ(M. Mahamadou ISSOUFOU)ニジェール大統領が出席した。建設費は約110億 FCFA。同事務所の建設により, 人やモノの流動性が大幅に高まることが期待される(14日, La Nation 紙)。
- ・ 14日, サケテにおいて交通事故が発生し, 5人の重傷者及び物的損害が発生した(16日, L' Evénement Précis 紙)。
- ・ 25日, LEPI更新指導監督評議会(COS/LEPI:Conseil d' Orientation et de Supervision de LEPI)のサカ(M.Sacca LAFIA)委員長は, ヤイ大統領に対し, LEPI確認作業の登録者数は予想していた6. 1百万人を大きく上回る6. 5百万人であった旨報告した(28日, La Nouvelle Tribune紙)。

【外政】

- ・ 2日から4日, ヤイ大統領はブリュッセルで開催されたEUアフリカサミットに出席した(3日, La Nation紙)。
- ・ 16日, トーゴのニヤシンベ(M.Faure GNASSINGBE)大統領がベナンを訪問し, 同大統領及びヤイ大統領は, 2015年第1四半期にはアジャララ水力発電ダムを起工する旨合意した(17日, La Nation紙)。

【経済】

- ・ 3日, 中国大使館は, 2011年に同国の支援で完成したパラクの軍事病院の開所式を実施した(9日, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 同日, アボメイにおいてベナン油公社(SHB:Societe des Huileries du Benin)の労働者らが, 綿花セクターの機能不全により, 原料となる綿実が入手できないため, 廃業の危機に陥っているとして, 政府の改善を求めてデモを行った(4日, Le Matinal紙)。
- ・ 同日, パラクにおいて, 10日, バニコアラにおいて, 集荷を待つ綿花が火事にあい, 数10トンの綿花が焼失した(4日, Le Matinal紙, 11日, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 7日, コトヌーニアメイを結ぶ鉄道整備計画のプロジェクト開始式が実施され, ヤイ大統領, イスフ・ニジェール大統領, ボロレ(M.Vincent Bolloré)仏ボロレ・グループ代表が出席した。同事業の総事業費は, 7千億FCFAに上り, 2015年までに鉄道の敷設を終了する予定(9日, L' Evénement Précis紙)。

- 10日、アボメイ・カラヴィ・ビジネス促進センターが、UNDPの支援でオープンし、ヤイ大統領、アビオラ(M.Francois Adebayo ABIOLA)国務大臣等の出席を得て開所式が実施された(11日, La Nation紙)。
- 同日、ヤイ大統領はトゥル(Tourou)で建設中の空港を視察した(16日, La Nation紙)。
- 22日、アフリカ経済開発アラブ銀行(BADEA:Banque Arabe pour le Développement Economique en Afrique)のケレフ(M.Abdelaziz KHELEF)総裁がベナンを訪問し、ビアン経済・財務大臣とともにロコサにおける技術教育高等学校建設の署名式を実施した。同事業費は、40億FCFA借款(23日, La Nation紙)。
- 24日、ベナン・エネルギー・鉱山・石油国際会議(BIMEPET)が開催され、ヤイ大統領が出席した(25日, La Nation紙)。
- 同日、アボメイ・カラヴィ大学において学生講堂の起工式が実施され、ヤイ大統領が出席した。同講堂は、昨年3月にウワタラ(M.Alassane OUATTARA)コートジボワール大統領が同大学を訪問したときに支援を約束したものであり、総事業費は、5億3千万FCFAに上る(25日, La Nation紙)。
- 同日、蘭が、ベナンにおいて農道整備計画(PASTR II: Programme d'appui au sous-secteur de transport rural)を実施することになり、Jos Van Aggelen駐ベナン蘭大使及びビアン(M.Jonas GBIAN)経済・財務大臣が署名式を実施した。同計画の総事業費は、129億FCA Fに上り、事業期間は2016年まで(25日, La Nation紙)。

(了)